



あまぬまだより

<http://www.suginami-school.ed.jp/amanumashou/>

杉並区立天沼小学校



『心の強さ』

主幹教諭 稲葉 八重子

令和2年は、今までとは違う1年になりました。12月になり、いろいろな対策・注意をしながらの生活に慣れてもきましたが、今までとの違いに多くの人がストレスや気疲れを感じているのではないかと思います。

この状況下で、大きく変更になったことの一つが「東京オリンピック・パラリンピック」の延期でした。そして、2021年にどのような形で開催されるのかまだはっきりしていません。

競技場での応援やテレビでの視聴など楽しみにしていた人の落胆もありますが、出場を目指して、オリンピック・パラリンピックでのよりよい結果を目指して、日々努力してきたアスリートの方々の気持ちは、想像しても計り知れないものがあるように思います。それでも、多くのアスリートの方々が、今できることに取り組み、目標を見失わないようにしている姿や自分自身を鼓舞するような発言をされていることに感心しました。

ライバルは誰ですか。」と尋ねられたアスリートが「自分自身です。」と答える場面を何度も見たことがあります。競技にストイックに打ち込んでいることが伝わってくる返答だと思って聞きました。しかし、この状況下、「自分自身に勝つ。」ことがどれほど大切で、どれほど難しいことなのか、改めて考えさせられます。自分の生活や人生の多くを（すべてを）かけて取り組んできた目標が、突然不条理になくなってしまった時、折れそうな心をなんとか奮い立たせるためには「自分自身に勝つ。」しかないと思うのです。そして、人との関わりが制限され、孤独な中で一人一途に自分と向き合い「自分自身に勝つ。」のはどれほど苦しいことなのか。アスリートにとって、身体だけでなく、心の強さも必要な事が改めて分かったように思いました。

アスリートの中でも特に心が強いと思う一人に、競泳の池江璃花子選手がいます。どんどん記録が伸びて、東京オリンピックでの活躍が約束されたような時、大変な病気であることが伝えられました。どんなにつらいであろうと心が痛みましたが、しばらくするとSNSでご自分の心境や様子を伝え始めました。伝えられる内容は常に前向きで、読んでいる私の方が勇気づけられました。治療が一段落して、競技を再開するためにトレーニングをしている様子が映像でも伝えられました。病気になる前とは大きく異なる姿に痛々しさを感じてしまいましたが、「自分を見てもらうことで、同じように病気と闘っている人たちを勇気づけたい。」というような話をされていました。最近のニュースでは、大会にも出場し涙を流す姿が見られました。「ここまで戻ってこられたことに感激した」涙だったそうです。本当に心身ともに強い方だと尊敬します。

心の強さは、どのようにしたら育つのだろうと考えます。多くの人は、弱い心を少しずつ鍛えていくのではないのでしょうか。チャレンジし、何度か失敗を繰り返して、次第に成功するようになり、成功体験が次へのモチベーションとなり、またチャレンジすることができる。この積み重ねが心を鍛えることにつながるのではないかと思います。そして、その過程では周りの人たちに支えられ受け入れられることが必要です。チャレンジすることを認められ、失敗した時には傍に寄り添い、成功をと共に喜び、時には厳しく、時には逃げ場になるような存在が必要です。

子供たちには、「自分自身に勝つ。」ことのできる心の強い人になってもらいたいです。その支えになることが、子供の成長に携わる大人の大切な役目の一つなのだろうと考えました。

** 今月の目標 **

生活

学校をきれいにしましょう
～2学期の反省をしましょう～

保健

かぜやインフルエンザを
予防しましょう

給食

みんなで楽しく食べましょう



12月の行事予定



日	曜	行事予定
1	火	午前授業 保護者会全(14:00/156年こだま 15:00/234年)
2	水	歯科26AM 委員会
3	木	安全指導 歯科35こAM HS
4	金	
5	土	ハピサタ(アリーナAM)
6	日	
7	月	裁判傍聴事前授業6 HJ SC
8	火	フォ 給食費引落
9	水	午前授業
10	木	社会科見学6 歯科14AM HS
11	金	なわ跳びフェスティバル
12	土	土曜授業 全校朝会 道徳授業地区公開講座
13	日	
14	月	避難訓練(不審者対応) SC
15	火	たてわり班 フォ
16	水	クラブ活動
17	木	午前授業
18	金	
19	土	
20	日	
21	月	SC
22	火	
23	水	午前授業
24	木	午前授業
25	金	午前授業 給食終
26	土	土曜授業 終業式(1h) 大掃除
27	日	
28	月	冬季休業日始
29	火	
30	水	
31	木	

CS、PTA委員の一部のみの参観です。

冬季休業 12月28日(月)から1月7日(木)
始業式 1月8日(金)特別時程給食なし 下校12:15頃

SC: スクールカウンセラー来校日

12/29~1/4の間は、校庭・校舎内に入れません。

学校支援本部コーナー

天沼小学校支援本部(あまぬまワンダラーズ)の活動を紹介します

放課後子ども教室(あまぬまハッピーくらぶ)が二学期からスタートしました。

開催にあたり活動時には健康チェックの検温と数回の手洗い(消毒液使用含む)など、新型コロナウイルス感染症防止対策を行なっています。

団体競技などもありますが、指導者からのアドバイスなどいただきながら各教室が密にならないようなメニューを工夫しています。

児童にとって、安全安心な居場所づくりや異学年とのコミュニケーションの場となり、体験を通して得られる交流を楽しみながら活動しています。また、運営にあたっては見守りサポーターとして保護者、地域の皆さんにもご協力いただいています。



12月の朝遊びカレンダー

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

学校運営協議会コーナー

コロナ禍が引き続く中、子供たちは教員、職員、カウンセラー等に見守られて、毎日の学校生活を送っています。

保護者の皆様はいかがでしょうか。お悩みのことがあれば、保護者の皆様もカウンセラーの相談が受けられます。

また、ウエルファーム杉並にある社会福祉協議会も、生活支援や子育て支援についての相談窓口があります。5月の教材配布時に、子供たちへのフードパ

ントリーもしましたが、高齢者支援だけではなく、ファミリーサポートも広く行っている機関です。

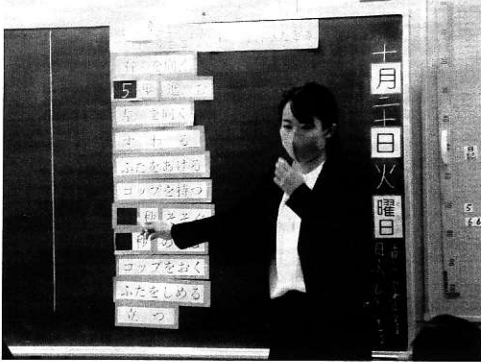
何かお困りごとがあった場合には、一人で悩まず、まず誰かに相談してみることをお勧めします。私たち学校運営協議会の委員も、多様な活動をしているメンバーがおりますので、お気軽にお声かけください。正門向かって左側にある「コミュニティ・ポスト」に投函していただいても、私たちに届きます。

12月2日の学校運営協議会では、終業式にお配りする学校評価アンケートの内容を検討します。

今年度もウェブ回答を中心に皆様のご意見をいただき、次年度の学校運営に役立ててまいります。

どうぞご協力をお願いいたします。

プログラミング教育



本校では昨年度まで指定されていた東京都プログラミング教育推進校に引き続き、今年度からは2年間の「東京都情報教育研究校」として情報活用能力の育成を進めています。情報活用能力は多岐に渡りますが、中でも児童が「プログラミング的思考」を身に付けるための学習は現在注目されています。プログラミング的思考について、文部科学省は『自分が意図する一連の活動を実現するために、どのような動きの組み合わせが必要であり、一つ一つの動きに対応した記号をどのように組み合わせたらいいのか、記号の組み合わせをどのように改善していけば、より意図した活動に近づくのか、といったことを論理的に考えていく力』と位置付けています。

例えば全自動洗濯機や炊飯器、ロボット掃除機など、身の回

りの様々な物に活用されているプログラミング。これからますます情報化社会が進んでいく中で、AIをはじめとして便利な物が増えていく時代の中で、コンピュータが命令を実行する仕組みを人が理解し、正しく効率的に使うことは大切です。さらに、プログラミング的思考が生かされるのはコンピュータにプログラムを入力する時だけではありません。「まずAを実行してから次にBに進んで、最後にCをすとうまくいきそうだな」とか、「もし、〇〇の状態になったら□□すると良さそうだな」という具合に、日常生活の様々な場面で生かされることも期待できます。無駄が無いように効率良く手順を考えていくという点では「料理」や「掃除」の場面が最もイメージしやすいのではないのでしょうか。

天沼小では、このようなプログラミング的思考を子供たちが身に付けるために、低学年から高学年まで、発達段階に応じた多様な教材を存分に生かしながら学習を進めています。教員が思いつかないようなアイデアが子供たちから出されることもあり、毎回楽しく確実に学びを進めています。



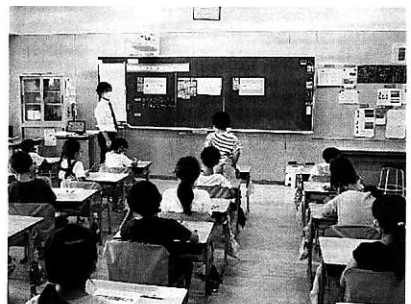
情報モラル教育

天沼小学校の情報教育を支える柱は2つあります。一つが「プログラミング教育」、そしてもう一つが「情報モラル教育」です。また、今年度からは「機器操作技能の上達」の指導方法についても研究を進めています。情報モラル教育とは、子供たちが日常生活の中で情報機器を使う際に、友達とのトラブルを避けたり、危険な犯罪から身を守ったりするために必要な能力を育てるための学習です。SNS等の発展により、誰にでも情報が共有できるようになった現在では、情報犯罪から身を守るだけでなく、子供たち自身が加害者にならないように注意して使うことも大切です。家で自分専用のスマートフォンやタブレット端末を持っている子供の数も増えてきたように感じることから、情報モラルがもつ重要性はますます増えていくと考えています。

本校では、情報モラルの教材として「SNS東京ノート」を中心に使っています。この教材は低・中・高学年の3冊に分かれており、それぞれの発達段階に応じて様々な事例を通して学んでいきます。例えば、情報モラルの学習ではありますが、1年生で行う学習の中には「公園で遊んでいる時にかくれている危険を見つける」というスマホやタブレットにはまったく関係ない内容もあります。しかし、この

ような「身近に潜む危険を探し出す」という活動がその後の情報モラル学習をする上での土台となっていくため、敢えて1年生の教材として組み込まれているのです。

自分一人で考えるのではなく、友達と意見を交流させながら、より良い解決方法を考えていくのが情報モラルの授業の特徴です。「あれをしちゃだめ」、「これもしちゃだめ」という禁止ばかりを教師が伝えるのは簡単です。しかし、これから更に発展していく高度な情報化社会の中で、子供たちが「情報機器をうまく使いこなして自分の力を発揮したい」と思えるような教育を目指して研究を進めています。



1ねん



10月29日(木)に、武蔵野公園へ生活科見学に行ってきました。見学の目的は、秋を見つけたり生き物と触れ合ったりすることでした。見学の前に、事前学習として、オリジナル図鑑づくりを行いました。図書室の図鑑等を参考にして、生き物や植物について丁寧にまとめました。見学当日は、どんぐりや落ち葉拾いをしたり、川でエビやドジョウなどを捕まえたりして、普段はあまり触れ合えない生き物や植物と触れ合えました。捕まえた時の子供たちの表情はとてもキラキラでした。今後は、見てきたことを知らせる報告文をつくり、学級ごとに発表会をしていきたいと思っています。

生活科「町たんけん」では、自分が住んでいる町のすてきなところを発見するために施設やお店に出向き、インタビューをしました。事前学習では、質問を考えたり、話し方や聞き方の約束事を確認したりしながら練習を重ねてきました。当日は、グループの友達と協力し、一人一人が決められた役割に責任をもって取り組むことができました。

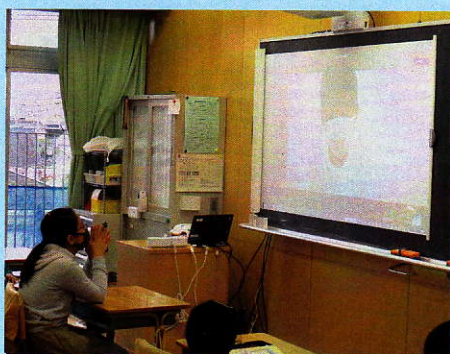
「町たんけん」では、地域・保護者・AWの方々に大変お世話になりました。子供たちにとって「天沼」のすてきなところを発見する貴重な機会となりました。ここで学んだことを今後の学習に活かしていきます。

2ねん



学習の様子

5ねん



5年生は、「〇〇合う」が学年目標です。昨年度までの学校生活の形を変えながら、「〇〇合う」学習を展開しています。その中でも、Teamsを活用して「〇〇合う」ことができないか試行錯誤を繰り返しています。総合的な学習の時間の「AKP(天沼会社経営プロジェクト)」や「富士日帰りツアー」など、これまでは毎回学年全員が集まっていた学習も、教室で行うことができます。移動時間などを省き、その後の活動がスムーズに展開できるというよさもわかってきました。全員が集まり、顔を合わせて進めた方がいい学習と、そうでないものを見極めながら、今後の「〇〇合う」学習を展開していきたいと考えています。

11月2日(月)、こだま学級の児童13名は、学級遠足で多摩動物公園に出かけました。

動物園では、赤チーム、青チームの2つのグループに分かれて見学をしました。赤チームの子供たちはウサギ、インコ、フラミンゴ、ゾウなどを楽しんで見学することができました。青チームは、動物の他にも昆虫園やモグラの家など、いろいろな施設を興味深く見学していました。お弁当を食べた後、買い物学習としておみやげを買ったことも、子供たちはとても嬉しそうでした。お天気にも恵まれ、思い出に残る遠足となりました。

こだま

